

ビワイチと滋賀県内サイクリングについてのアンケート結果(観光振興局)

滋賀県では、自転車で県内を周遊する「ビワイチ」による観光振興をしています。そこで、県民の「ビワイチ」に対する関心等を把握するとともに、「ビワイチ」推進事業における改善点や今後の方向性等を見出すため、このアンケートを実施しました。

★調査時期:令和7年7月

★対象者:県政モニター300名

★回答数:236名(回収率 78.7%)

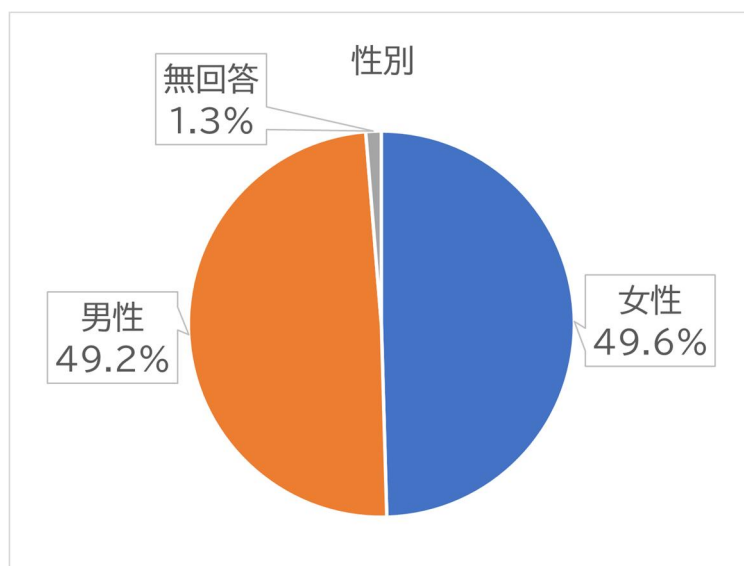
★担当課:商工観光労働部 観光振興局

(※四捨五入により割合の合計が 100.0%にならない場合があります。)

【属性】

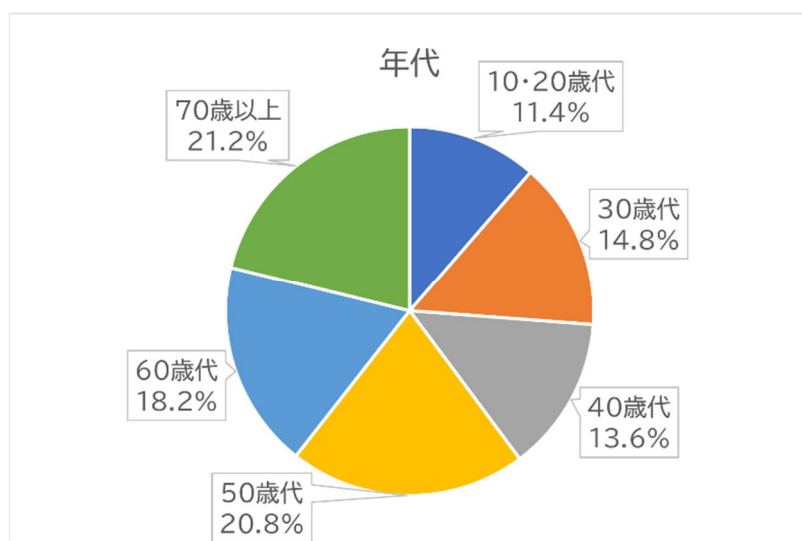
◇性別

項目	人数(人)	割合(%)
女性	117	49.6
男性	116	49.2
無回答	3	1.3
合計	236	100.0



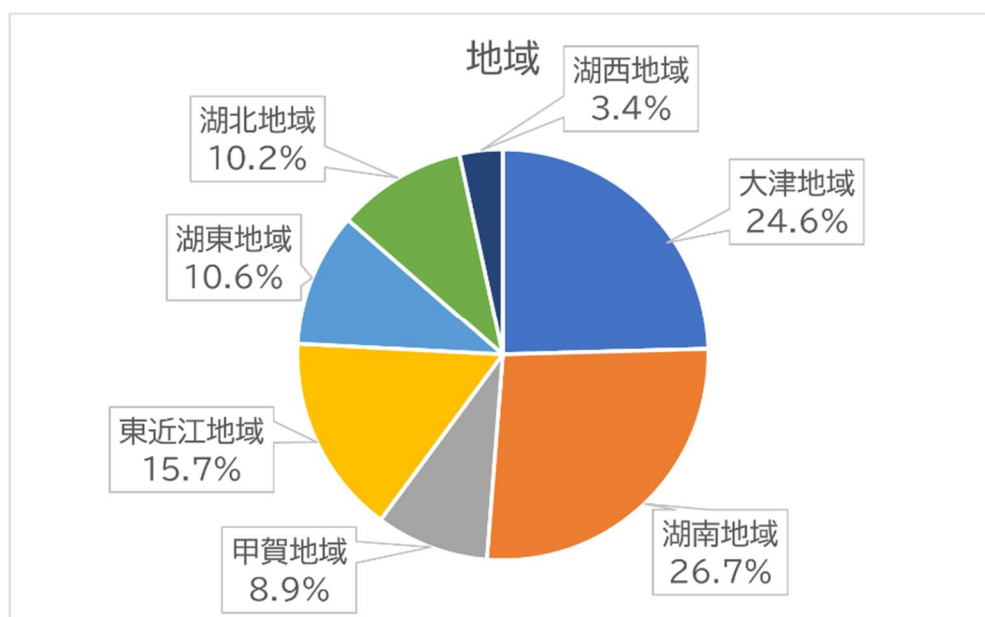
◇年代

項目	人数(人)	割合(%)
10・20 歳代	27	11.4
30 歳代	35	14.8
40 歳代	32	13.6
50 歳代	49	20.8
60歳代	43	18.2
70歳以上	50	21.2
合計	236	100.0



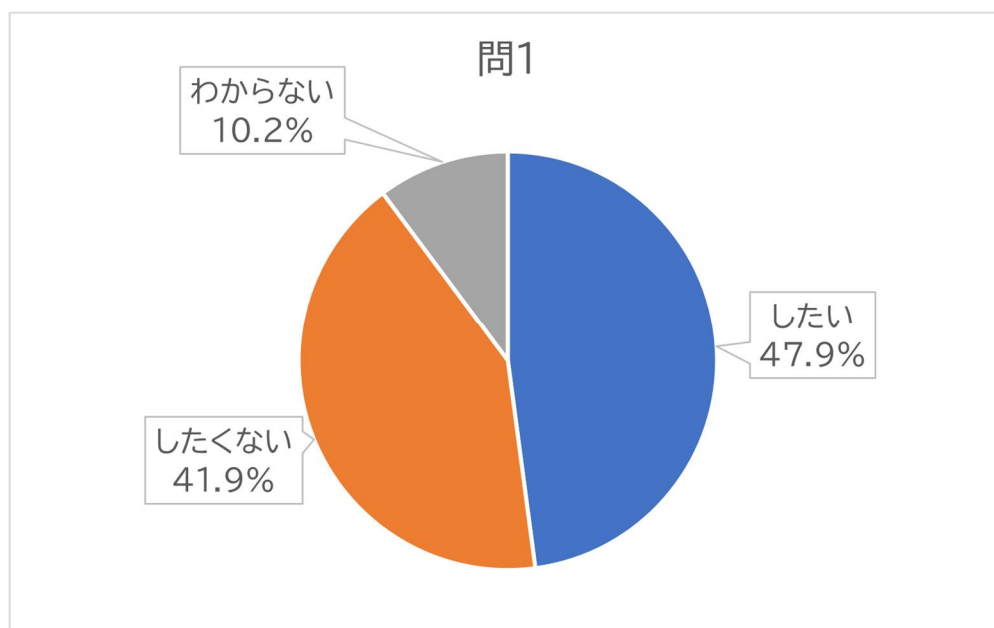
◇地域

項目	人数(人)	割合(%)
大津地域	58	24.6
湖南地域	63	26.7
甲賀地域	21	8.9
東近江地域	37	15.7
湖東地域	25	10.6
湖北地域	24	10.2
湖西地域	8	3.4
合計	236	100.0



問1 滋賀県内を自転車で周遊観光したいと思いますか。(n=236)

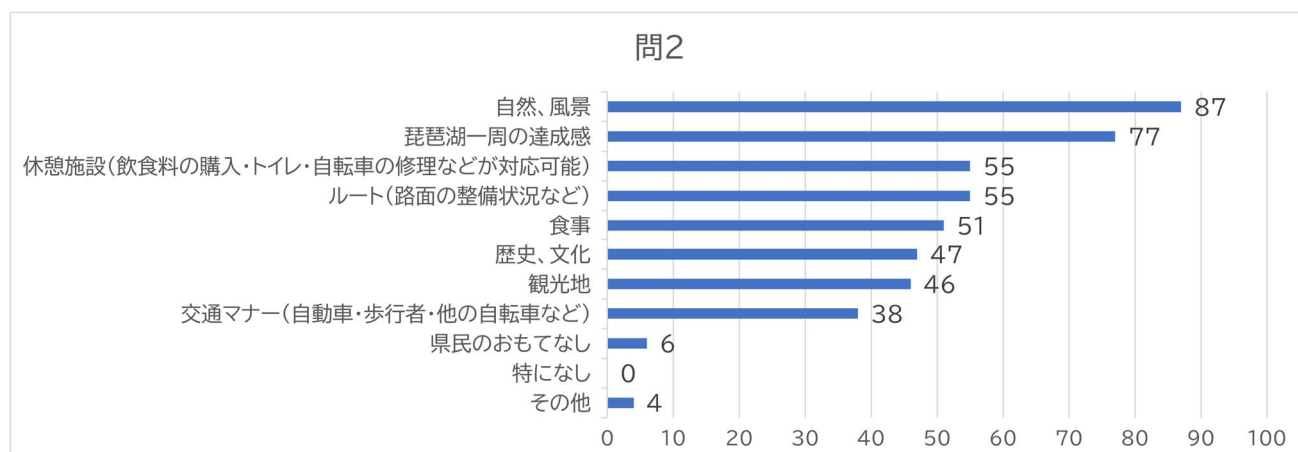
項目	人数(人)	割合(%)
したい	113	47.9
したくない	99	41.9
わからない	24	10.2
合計	236	100.0



問2 【問1】で「したい」と選択された方におたずねします。県内でサイクリングする際に期待することは何ですか。（「特になし」を選択した場合を除き、回答チェックはいくつでも）（n=113）

項目	人数(人)	割合(%)
自然、風景	87	77.0
琵琶湖一周の達成感	77	68.1
休憩施設(飲食料の購入・トイレ・自転車の修理などが対応可能)	55	48.7
ルート(路面の整備状況など)	55	48.7
食事	51	45.1
歴史、文化	47	41.6
観光地	46	40.7
交通マナー(自動車・歩行者・他の自転車など)	38	33.6
県民のおもてなし	6	5.3
特になし	0	0.0
その他	4	3.5

その他:自転車走行時の安全確保、天候急変などに備えるための一時退避所の拡充 等

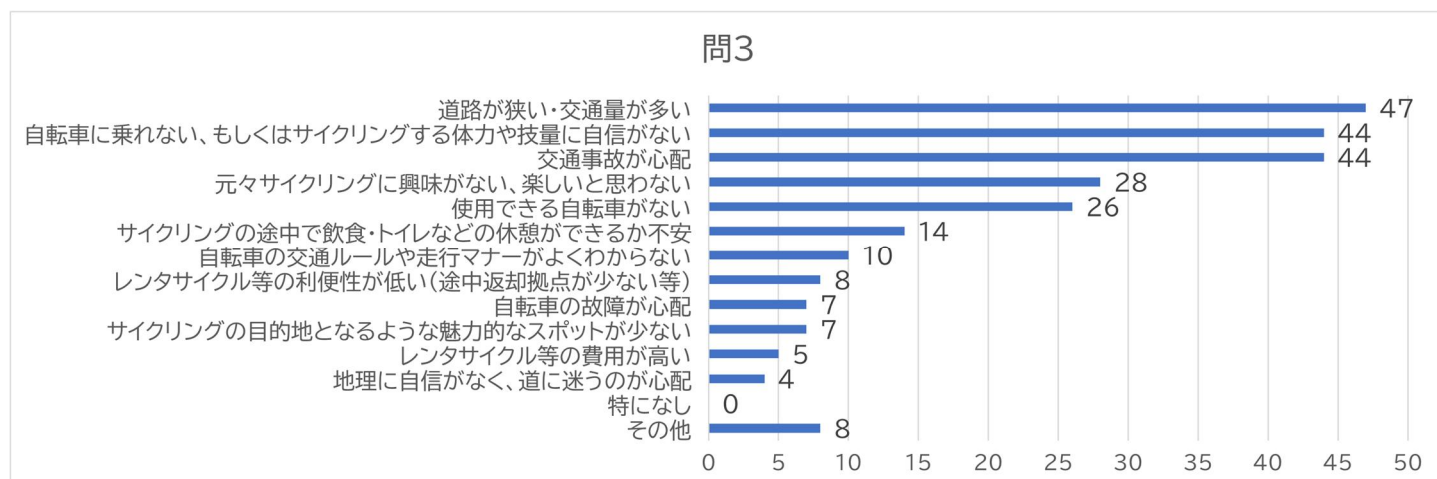


問3 【問1】で「したくない」と選択された方におたずねします。サイクリングをしたくない理由は何ですか。
 (「特になし」を選択した場合を除き、回答チェックはいくつでも) (n=99)

項目	人数(人)	割合(%)
道路が狭い・交通量が多い	47	47.5
自転車に乗れない、もしくはサイクリングする体力や技量に自信がない	44	44.4
交通事故が心配	44	44.4
元々サイクリングに興味がない、楽しいと思わない	28	28.3
使用できる自転車がない	26	26.3
サイクリングの途中で飲食・トイレなどの休憩ができるか不安	14	14.1
自転車の交通ルールや走行マナーがよくわからない	10	10.1
レンタサイクル等の利便性が低い(途中返却拠点が少ない等)	8	8.1
自転車の故障が心配	7	7.1
サイクリングの目的地となるような魅力的なスポットが少ない	7	7.1
レンタサイクル等の費用が高い	5	5.1
地理に自信がなく、道に迷うのが心配	4	4.0
特になし	0	0.0
その他	8	8.1

<その他>

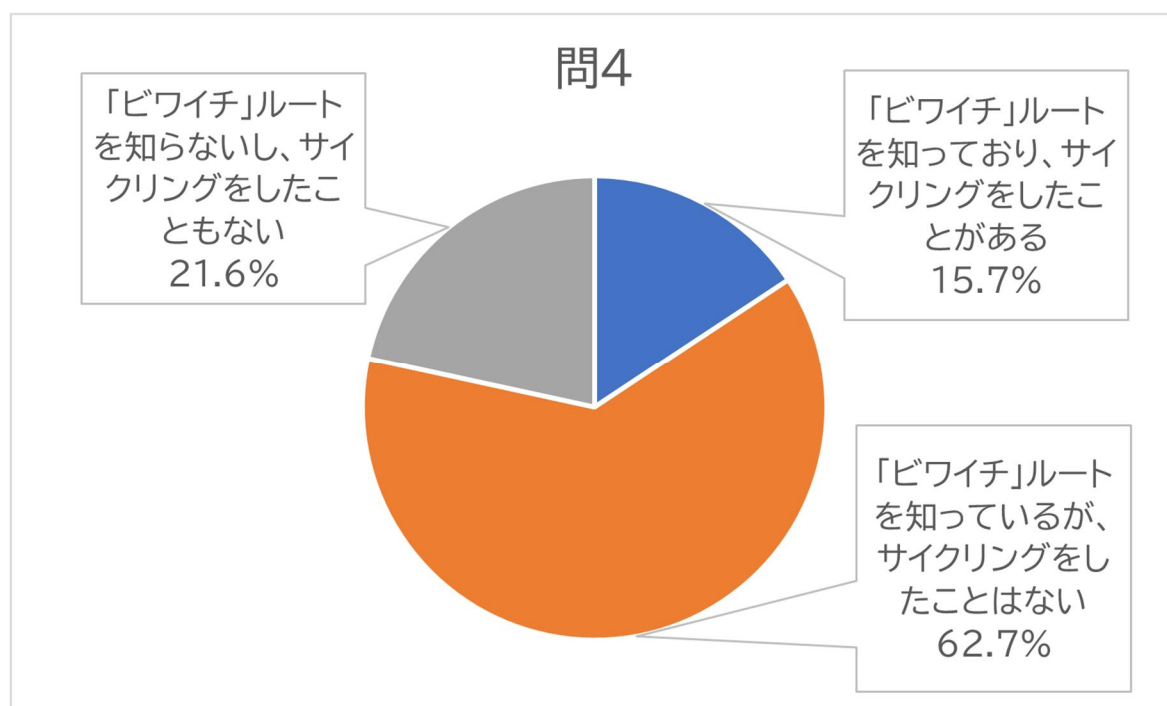
- ・熱中症のリスク
- ・天候と気温 等



問4 「ビワイチ」ルートを知っていますか。また、「ビワイチ」ルートをサイクリングしたことはありますか。
(n=236)

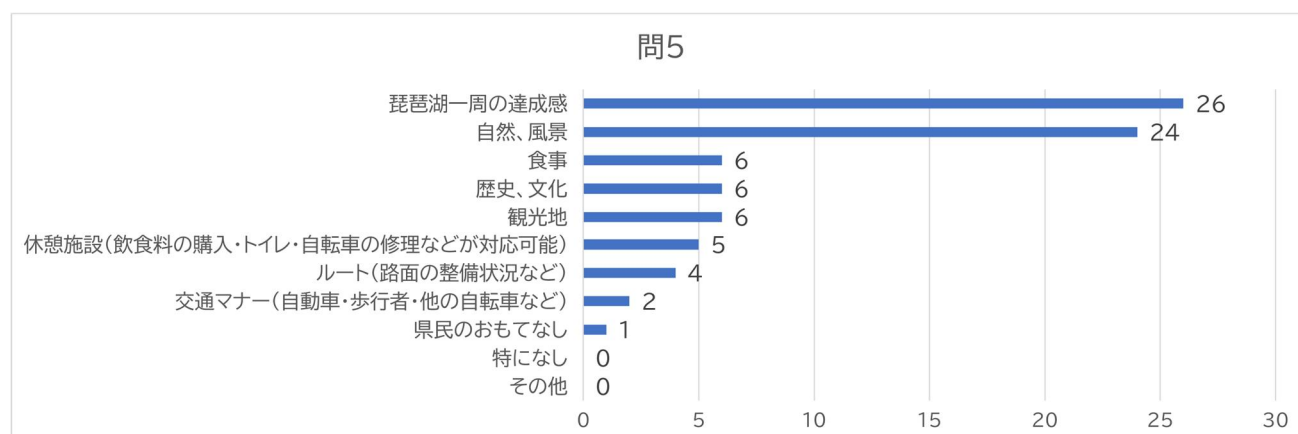
滋賀県では、自転車で琵琶湖を一周することまたは琵琶湖その他県内の観光地等を周遊することを「ビワイチ」としています。そのうち、琵琶湖を一周するルートを「ビワイチ」ルート、琵琶湖一周に限らず県内観光地を周遊するルートを「ビワイチ・プラス」ルートと設定しています。

項目	人数(人)	割合(%)
「ビワイチ」ルートを知っており、サイクリングをしたことがある	37	15.7
「ビワイチ」ルートを知っているが、サイクリングをしたことはない	148	62.7
「ビワイチ」ルートを知らないし、サイクリングをしたこともない	51	21.6
合計	236	100.0



問5 問4で「「ビワイチ」ルートを知っており、サイクリングをしたことがある」と選択された方におたずねします。サイクリングをしてみて良いと感じた点は何ですか。（「特になし」を選択した場合を除き、回答チェックはいくつでも）(n=37)

項目	人数(人)	割合(%)
琵琶湖一周の達成感	26	70.3
自然、風景	24	64.9
食事	6	16.2
歴史、文化	6	16.2
観光地	6	16.2
休憩施設(飲食料の購入・トイレ・自転車の修理などが対応可能)	5	13.5
ルート(路面の整備状況など)	4	10.8
交通マナー(自動車・歩行者・他の自転車など)	2	5.4
県民のおもてなし	1	2.7
特になし	0	0.0
その他	0	0.0

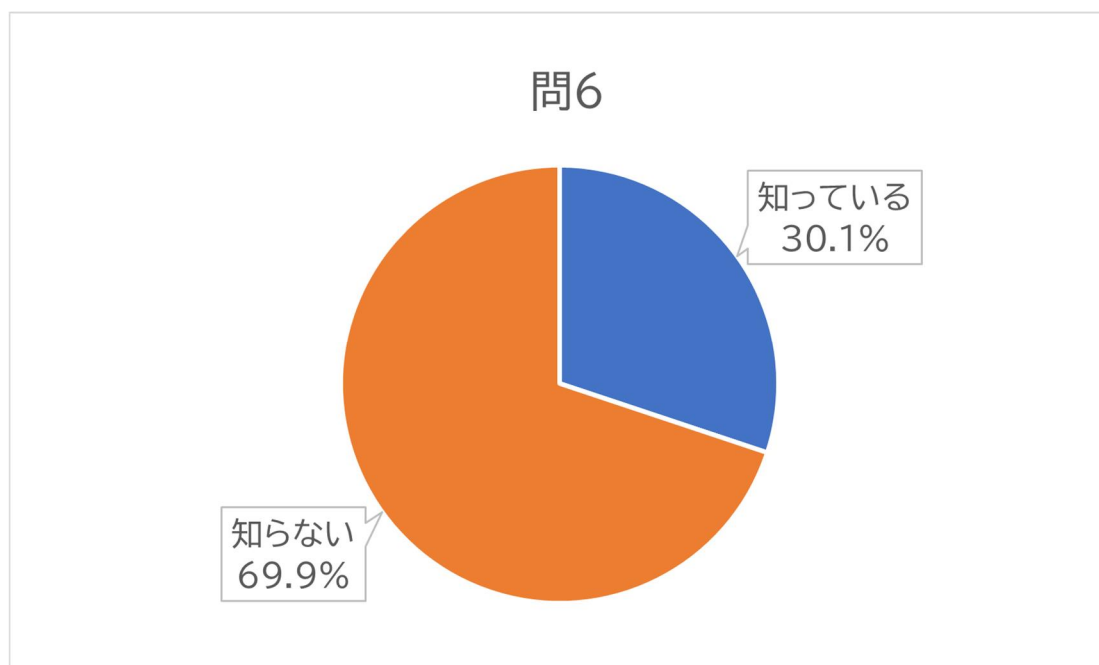


問6 「ビワイチ」ルートに、低速コース・上級コースの2種類があるのは知っていますか。(n=236)

「ビワイチ」では、だれもが安全・安心に楽しめるルートとなるよう、走行レベルに応じて低速・上級の2つのコース設定を行い、コースに合わせた通行空間の整備を進めています。

低速コースは交通量の少ない車道、自転車歩行者専用道路等を走行するルートで、上級コースは原則、車道を走行するルートです。

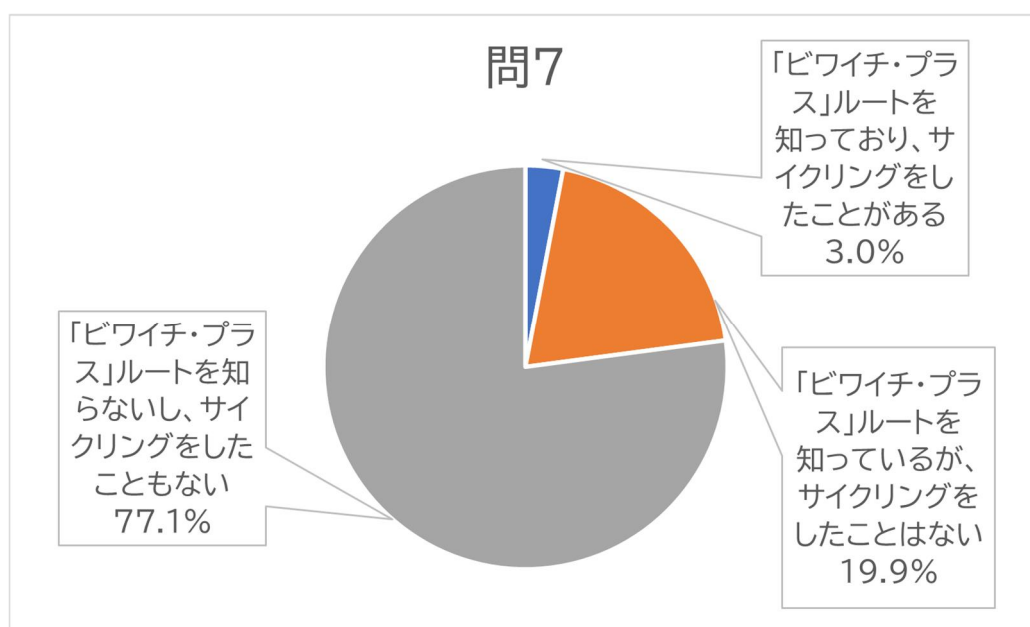
項目	人数(人)	割合(%)
知っている	71	30.1
知らない	165	69.9
合計	236	100.0



問7 「ビワイチ・プラス」ルートを知っていますか。また、「ビワイチ・プラス」ルートをサイクリングしたことはありますか。(n=236)

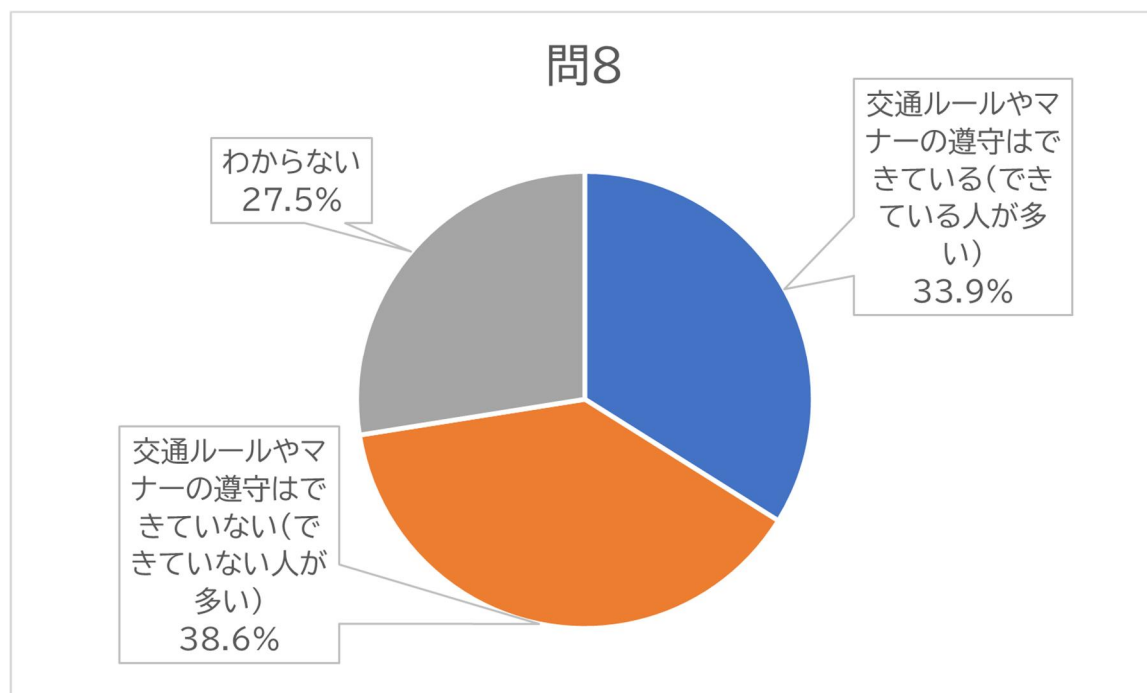
滋賀県は琵琶湖岸のみならず県内全域へのサイクリングを進めるため、県内各地の観光地等を周遊する「ビワイチ・プラス」ルートを令和元年12月に設定し、各地域の特色ある魅力を発見するサイクリングの新たな楽しみを提供しています。

項目	人数(人)	割合(%)
「ビワイチ・プラス」ルートを知っており、サイクリングをしたことがある	7	3.0
「ビワイチ・プラス」ルートを知っているが、サイクリングをしたことはない	47	19.9
「ビワイチ・プラス」ルートを知らないし、サイクリングをしたこともない	182	77.1
合計	236	100.0



問8 サイクリングをしている人の交通ルールや走行マナーについて、どのように感じていますか。(n=236)

項目	人数(人)	割合(%)
交通ルールやマナーの遵守はできている(できている人が多い)	80	33.9
交通ルールやマナーの遵守はできていない(できていない人が多い)	91	38.6
わからない	65	27.5
合計	236	100.0

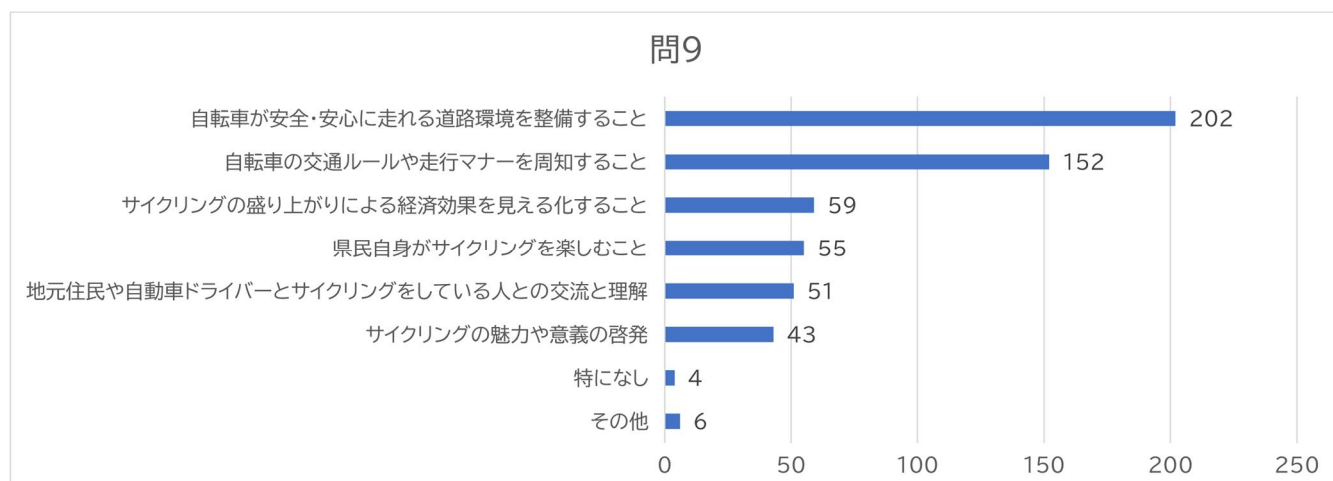


問9 安心・安全なビワイチのために必要なことは何でしょうか。(「特になし」を選択した場合を除き、回答チェックはいくつでも)(n=236)

項目	人数(人)	割合(%)
自転車が安全・安心に走れる道路環境を整備すること	202	85.6
自転車の交通ルールや走行マナーを周知すること	152	64.4
サイクリングの盛り上がりによる経済効果を見える化すること	59	25.0
県民自身がサイクリングを楽しむこと	55	23.3
地元住民や自動車ドライバーとサイクリングをしている人との交流と理解	51	21.6
サイクリングの魅力や意義の啓発	43	18.2
特になし	4	1.7
その他	6	2.5

<その他>

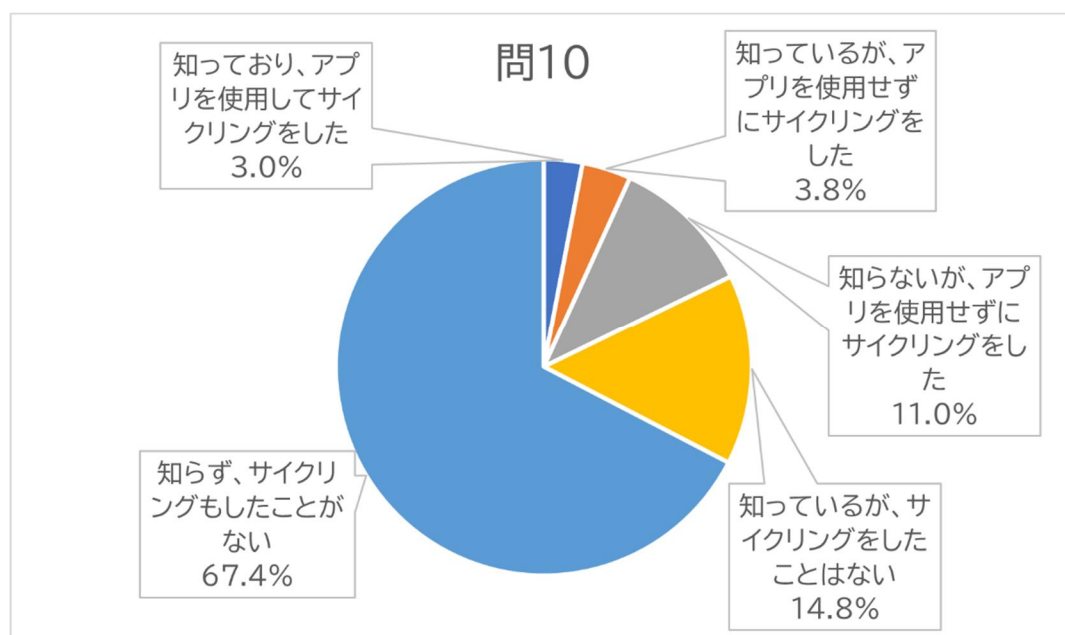
- ・トイレを有料にしても良いから、もう少し綺麗にしてほしい
- ・自転車に乗る人間が交通ルールを守ること 等



問 10 「ビワイチサイクリングナビ-ShigaTrip-」アプリを知っていますか。また、それを使用してサイクリングしたことはありますか。(n=236)

滋賀県では、誰もが楽しめるサイクリングを進めるため、目的地へのナビゲーション機能や観光情報が無料で利用できるアプリを平成 30 年(2018 年)4月から提供しています。

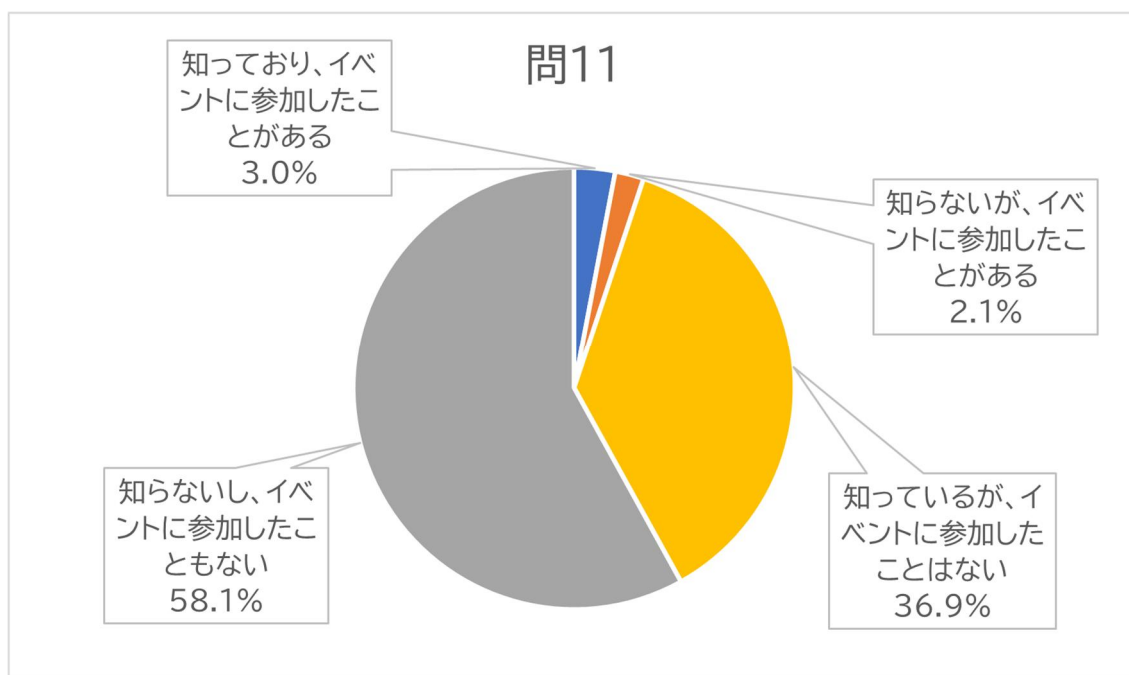
項目	人数(人)	割合(%)
知っており、アプリを使用してサイクリングをした	7	3.0
知っているが、アプリを使用せずにサイクリングをした	9	3.8
知らないが、アプリを使用せずにサイクリングをした	26	11.0
知っているが、サイクリングをしたことはない	35	14.8
知らず、サイクリングもしたことがない	159	67.4
合計	236	100.0



問 11 「ビワイチの日」・「ビワイチ週間」を知っていますか。(n=236)

「ビワイチ推進条例」により、ビワイチの日は 11/3、ビワイチ週間は 11/3～9と定められています。条例には「ビワイチの日・ビワイチ週間には市町等と連携し、この趣旨にふさわしい取組を行う」旨が記されており、その一環として県は令和4年度(2022 年)から毎年 11 月上旬に「ビワイチの日」イベントを行っています。

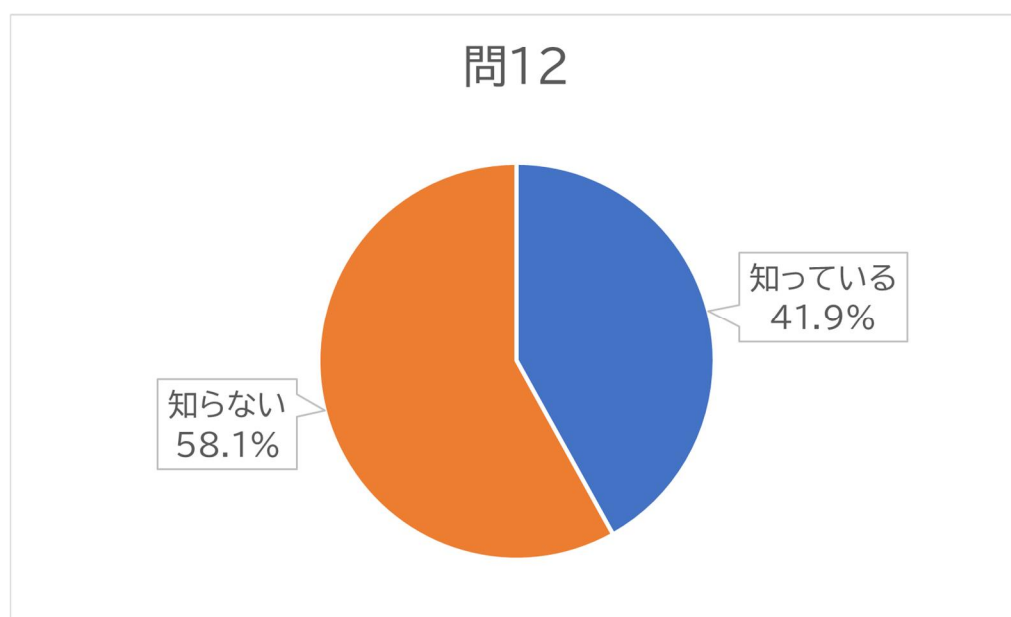
項目	人数(人)	割合(%)
知っており、イベントに参加したことがある	7	3.0
知らないが、イベントに参加したことがある	5	2.1
知っているが、イベントに参加したことはない	87	36.9
知らないし、イベントに参加したこともない	137	58.1
合計	236	100.0



問 12 「ビワイチサイクルサポートステーション」を知っていますか。(n=236)

「ビワイチサイクルサポートステーション」とは、トイレや空気ポンプの貸し出しなどを行うサイクリングをする人のおもてなし拠点です。令和7年(2025 年)5月現在、360 の施設が登録されています。

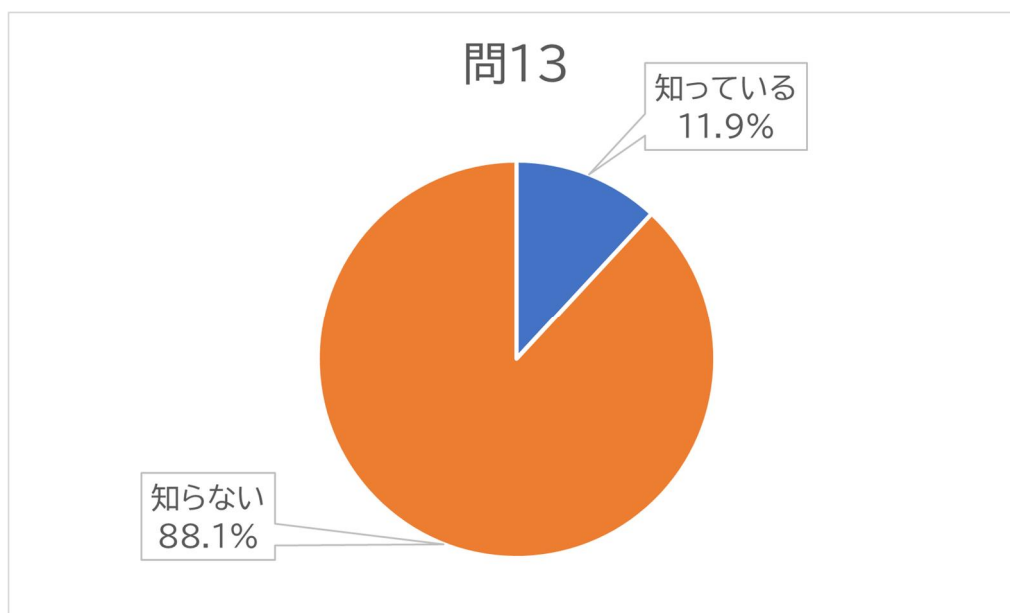
項目	人数(人)	割合(%)
知っている	99	41.9
知らない	137	58.1
合計	236	100.0



問 13 「滋賀県サイクリストにやさしい宿」を知っていますか。(n=236)

「滋賀県サイクリストにやさしい宿」とは、本県を訪れるサイクリングをする人が快適に、安心して宿泊できる施設です。自転車の客室への持込みまたは屋内の安全な場所での保管、スポーツタイプの自転車に対応した空気入れ、修理工具の貸出サービスなどの提供をしており、令和7年(2025 年)現在、57 の宿泊施設が登録されています。

項目	人数(人)	割合(%)
知っている	28	11.9
知らない	208	88.1
合計	236	100.0

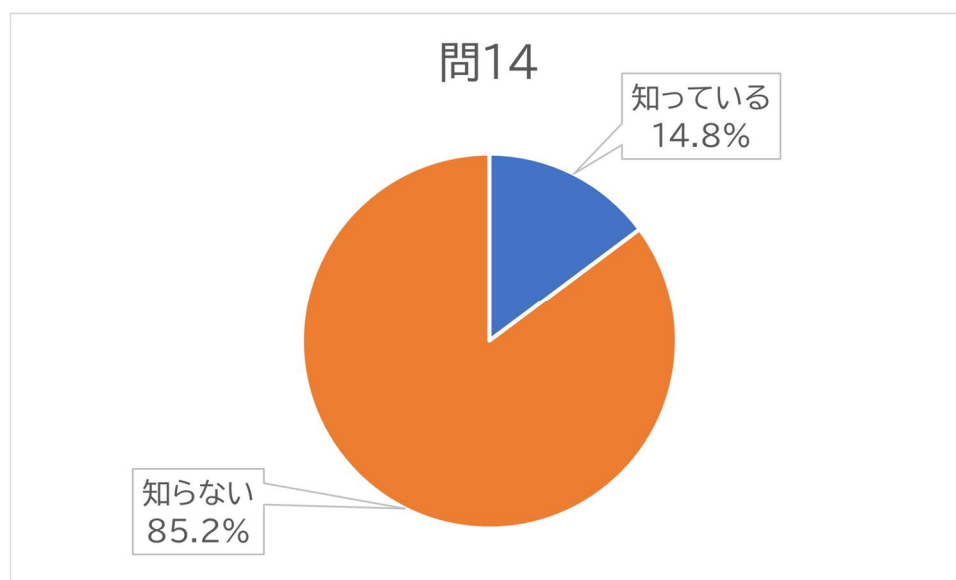


問 14 「ビワイチ」がナショナルサイクルルートに指定されていることを知っていますか。(n=236)

ナショナルサイクルルートとは、優れた観光資源に加え、走行環境や休憩・宿泊施設、情報発信など、ソフト・ハード両面の要素が整備された国土交通省指定のサイクリングルートです。

現在、ビワイチをはじめとした6ルートが指定されており、日本を代表する自転車ルートとして国内外に広くPRされています。

項目	人数(人)	割合(%)
知っている	35	14.8
知らない	201	85.2
合計	236	100.0



問 15 ビワイチをはじめとした県の観光振興に関してご意見がありましたらお聞かせ下さい。(一部抜粋)

・体力に自信がなく、途中でしんどくなったらどうしよう、という不安から自転車ビワイチをしたことがありません。子どもが大きくなったらビワイチや市の自転車イベントにぜひ参加しようと夫婦で話してはいるのですが、恥ずかしながら私は電動自転車を使いたいです。安心して使える充電スポットが充実していたり、電動のレンタサイクルがもっと広報されるといいなと思いました。

・この秋、大阪に住む小6の孫がビワイチを父親と自転車で走ってみたいという話がありました。が、やはり少し危険ではないかという話になっています。特に湖西側です。

孫たちは私たちが住んでいる滋賀県が大好きです。せっかく祖父母が琵琶湖の近くに住んでいるので、もっと琵琶湖ならではの体験をさせてやりたいと思いますが、ヨット・ボート・釣りなどどれも気軽に楽しませてやることは難しいです。県外からも参加して、子どもたちがもっと気軽に琵琶湖を体験できるような企画を考えて頂けると嬉しいです。

・マナーを守らない人が多いように感じます。(特に交通マナー、ポイ捨てなど)
道を整備して、交通安全を徹底しつつ、経済発展にも繋げていただきたいです。

・観光事業には注力して欲しい気持ちが大きい。滋賀県民が自慢できる所やお薦め観光地がほぼないので県民として寂しく感じる。(どこか遊びに行く所を紹介してと他県民から言われることあるが、彦根城とラコリーナとアウトレットしかない)任天堂ミュージアム誘致やプロ野球地方試合誘致など、魅力的なコンテンツ導入を必須にして観光と雇用対策に本気で取り組んで欲しい。

・しまなみ海道のように、安全に安心して走れる自転車道がほしいです。青い線を道路に書けばよいというものではありません。

・県の観光事業で考えるとどうしても琵琶湖は切り離せないと思うのでビワイチイベントなどをもっと周知していくべきだと思います。

・ビワイチの言葉は知っていてもルートの整備や宿泊施設の認定制度など知らない県民が多いと思う。
車に乗っているとビワイチらしきサイクリストの運転にヒヤツとした事も多いので、県民とサイクリスト両方にマナーやルートについて啓発する必要があると思う。

・コースのラインが消えかけている箇所が多い。コストが高くなるとは思いますが夜間に光るラインは出来ないか？

・県の観光振興に関して、自転車の旅も良いのだが、高齢者向きの企画があってもよいのではないかな。バスやジャンボタクシーを使っの小旅行を地元のバス・タクシー会社とコラボして、企画してみては。
高齢者は比較的経済的には余裕があるし、免許証返納後、家にこもりがちで不活発病を防ぐことにもなるの

ではないだろうか。県内の名所旧跡に行ったことがない県民が意外に多いと思われる。滋賀県は東西日本の要衝地であり、歴史や文化の宝庫に恵まれていることに、改めて注目すべきである。

・車道の端に青い線で自転車通行帯を区分されていますが、自転車通行帯の幅が狭くて、危険を感じる事がある。

・歩道を整えてほしい。狭い所がある。また、JRの本数が少ないと思う、増やしてほしい。

・自分は特にサイクリングを楽しんだ事も無いし、今後もその様な事はしないと思う。ただ、休日に琵琶湖周辺を車で走ると、確かに自転車でサイクリングを楽しんでいる人は見かける。ビワイチが、ナショナルサイクルルートに指定されている事をこのアンケートで初めて知った。もっとこんな楽しみ方が有るという事を県の内外にアピールできれば観光資源として活用できそうなイメージがある。

・一周というハードルの高さが、気軽にビワイチに挑戦しようとする人を遠ざけているように感じます。一度に一周するのではなく、連続しない複数日に分割してでもビワイチを楽しめるように、公共交通機関への自転車持ち込みルールが緩和できれば良いように思います。ライトなサイクリストにとっては輪行バッグはハードルが高いです。JR 琵琶湖線と湖西線に限って、自転車積載専用車両を設けるなどはどうでしょうか。欧州では珍しくないようですし、実際に自転車と社会の共存において日本よりも先行しています。また、ここに滋賀県らしい特色を追加するならば、大小の船舶を活用した湖上交通による、湖上観光と自転車移送を兼ねた事業の PoC (Proof of Concept: 概念実証) をやってみるのはいかがでしょうか。

・ビワイチもいいが、自転車の横を車で走るのは怖い。自転車と自動車、歩行者が共存していると言い難い。また、お互いにルールを守ることも大切。それができてはじめて、ビワイチが楽しめるのではないか。琵琶湖岸を舞台とした自転車レースとか開催したら面白そうだなと思います。すでに検討とか実施されてたかもしれませんが、また機会があれば友人や同僚を集って参加してみたいですね。

・琵琶湖湖岸に住んでいますが、ビワイチをされている方の交通マナーの悪さに困っています。停車したくないのか、交通ルールを守らずつつこんでくる。車道に膨らんでくる。交通渋滞の原因にもなっていると思います。

・元々、歩行者が極めて少ない道ではあるので、自転車専用道路の体制が整うまでは条例で歩行者専用道路を半分にして自転車専用道路にしていきたいです。ビワイチの起点、終点到滋賀県の施設を設置して、サポートステーションや宿などに関する情報提供、参加者の把握とビワイチ完走証明書の発行などを行い、ビワイチの価値向上を図ってはどうかと思います。

・ビワイチは一度参加してみたいと思いながら、車で走っていると自転車が怖く、なかなか参加できずにいる。ビワイチをもっとよく知って、安全だとわかればもう少し積極的に参加しようと思える気がする。コースの紹介や、沿道のイベント、観光や安全性など、さまざまな形で参加を呼びかけるようなしかけがあると良

い。

・長く関東に住んでいるが、なかなか琵琶湖の良さが伝わってこない。単身赴任で米原に住んで初めて滋賀の良さや魅力を知った。遠い地域にもその良さが伝わるような宣伝方法を考えていく必要がある。
ビワイチという言葉はもちろんよく知っているが、こんなにたくさんの施設や制度が整備されているとは知らなかった。湖岸道路がビワイチ向けにどんどん整備されているが、自転車も車もどちらもが安全安心に走れるよう、今後も整備を続けてほしいと思う。個人的にいつかサイクリングしてみたいという気持ちはあるが、準備品などに手間がかかるイメージもあり、いざとなるとなかなか始められずにいる。私のような完全な素人でもパッとサイクリング体験ができるような施設がもっとたくさん展開してもらえたら、観光客も「やってみよう」という人が増えると思う。世間一般的に「滋賀＝琵琶湖」というイメージが強いと思うので、そのイメージが生かせるビワイチが今後滋賀の名物になれるよう、期待している。

・「弱虫ペダル」という漫画とのコラボはいかがでしょうか。アニメの時期とかぶせて。
若しくは、「弱虫ペダル」のスピンオフで大学版があるようです。近畿には大学が多く、イベントにしやすいかと思います。

・サイクリングするのに自転車や服装など揃えるのが大変なのと続けられるか不安で手が出ない。
一昨年滋賀県外から転居してきましたが、9年前に滋賀に居住していた時期よりも『ビワイチ』という言葉をあちらこちらで見かけたり、自転車のためのサービスや施設なども増えていて、滋賀観光のアピールポイントとして『ビワイチ』がとても重要な位置を占めているのではと感じていましたし、このアンケートでも様々な取組を知ることができました。ただ、残念ながらまだまだ外国人の方へは浸透していないように感じるのですが…。以前居住していた瀬戸内地方では、しまなみ海道サイクリングコースが海外の方に大変好評で、たくさんの外国人の方をよく見かけました。しまなみ海道は瀬戸内の島々を橋の上から眺める絶景ルートと島内を観光、飲食しながら走るルートが交互に続くので、走っていて飽きず、また、目標地点が小刻みなもので、途中離脱しやすく初心者でも気軽に楽しめる友人たちからもよく聞いていました。せっかくナショナルサイクルルートとして選ばれたのであれば、もっと気軽に海外の観光客の方やサイクリストの方に利用してもらえるようなアピールや工夫が必要ではと感じます。観光都市京都のすぐお隣という絶好の立地条件の割には観光都市として弱い印象の滋賀ですが、長期滞在型の宿泊地としてはとても魅力的だと思っています。滋賀(琵琶湖)滞在型京都観光もぜひアピールしてほしいです。

・自転車をそのままの形で電車に乗れるようにしてほしいです。

・ビワイチという名前は知っていたけど、詳しいコトはわからなかった。私の周りもそういう人が多いと思います。もっと、ビワイチに興味を持てるイベントをしてほしいです。今までもされているのかわかりませんが、ビワイチで回ると道の駅などの飲食店でサービスが受けられるとか。
なかなかやるきっかけがないので(笑)始めるきっかけがほしいです。